

福島県の森林・林業の概況

1 森林資源

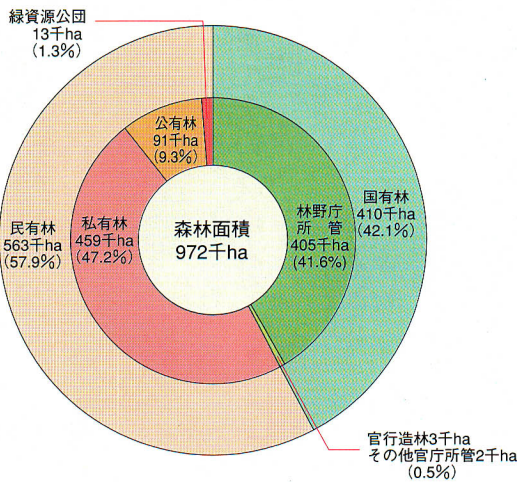
福島県の森林面積は、972千haで県土面積の約71%を占めている。これを保有形態別にみると、民有林は563千ha（57.9%）、国有林は410千ha（42.1%）である。

また、福島県の人工林面積は344千ha、天然林面積は574千haで、人工林率（森林面積に占める人工林面積の割合）は35.4%となっている。

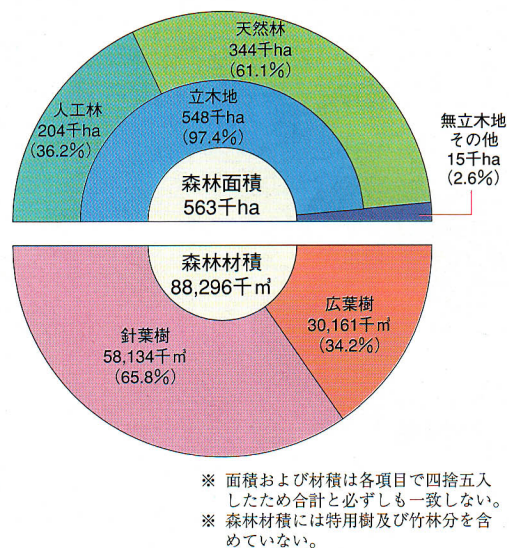
流域別に民有林の人工林率をみると、会津流域24%、阿武隈流域39%、奥久慈流域58%、磐城流域51%と各流域の特色がでてきている。

民有林の森林材積は88,296千m³で、森林面積とともに全国で上位を占めている。

保有形態別森林面積



民有林の林相別森林面積及び森林蓄積

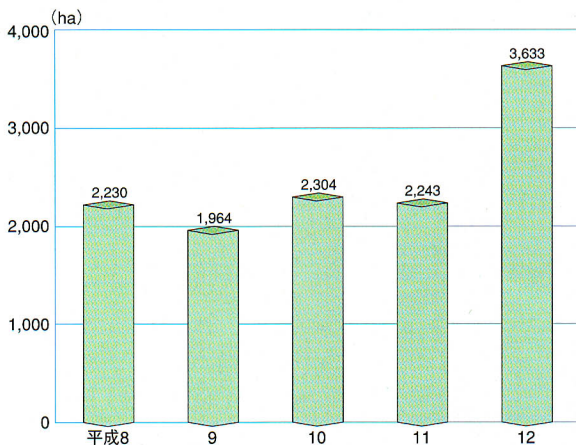


2 森林整備

森林整備は、健全な森林の育成を図るため、植栽、下刈、除伐、間伐等の一連の森林施業を実施するものである。特に、本県民有人工林の8割に相当する16万haがⅣ～Ⅹ齢級の要間伐森林であるため、計画的かつ重点的に間伐を推進する必要がある。平成12年度の間伐実績については、3,633haとなっている。

また、造林面積は、昭和40年代後半から年々減少を続け、平成12年度の実績は624haとなっている。

民有林間伐面積の推移



民有林造林面積の推移

